

「2-ヘキセナール」配合の揮発性バイオスティミュラント資材によるスイートピーの高温障害軽減効果

「2-ヘキセナール」の効果で高温による奇形の発生が減少する

背景・目的

- スイートピーは高温に遭遇すると生育障害を生じ、収量が減少しますが、近年の温暖化による影響が顕著になっています。
- そこで、高温耐性を誘導する効果のある「2-ヘキセナール」配合の資材について高温障害の軽減効果について検討を行いました。

成果の内容

- 「2-ヘキセナール」配合の資材を設置することで、花芽飛び等の奇形の発生する節数が減少します（図1）。
- また、4P2L以上の切り花の本数が、資材の設置により多くなります（表2）。

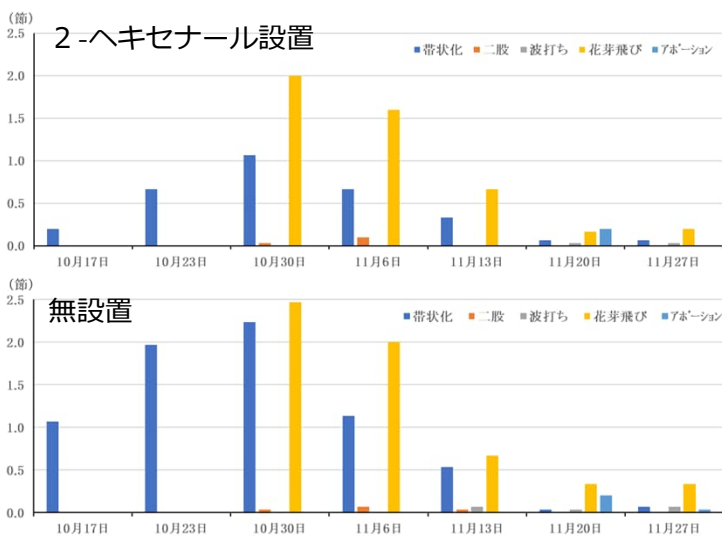


図 2-ヘキセナール配合資材の設置が奇形の発生に及ぼす影響

表1 1株あたりの出荷本数および規格別発生本数

資材	切り花本数(本)	うち4P2L以上 ² 本数
①2-ヘキセナール設置区	41.7 ± 0.8 ³	21.4 ± 1.1
②無設置区	40.2 ± 0.9	13.2 ± 2.0
有意性 ⁴	n.s.	*

²落蕾が無く全長が45cm以上、小花数4以上の花

³平均値±標準誤差(n=30)

⁴Mann-Whitney U検定により*は5%水準で有意差あり、n.s.は有意差なし

成果の活用方法(又は期待される効果)

- スイートピー「ムジカクリーム」の生育初期の高温対策として活用できます。
- 普及対象地域 県内のスイートピー生産者のうち「ムジカクリーム」栽培者

留意点

- 総合農業試験場で行った試験で「ムジカクリーム」で効果が確認された結果です。
- 資材は茎頂部より上方で風上に設置します。